

エゴマ種実を用いた豚肉の高品質化 ～現地実証～

福島県畜産試験場肉畜部
平成15年度畜産試験場試験成績概要

1 部門名

畜産－豚－品質・食味
分類コード 07－03－27000000

2 担当者

網中 潤・矢内伸佳・原 恵・国分洋一

3 要旨

これまで、実施してきたエゴマ種実給与による豚肉の高品質化技術の生産農場における現地実証を行い、試験成果について検証するとともに、商品としての評価を明らかにする。

- (1) 生産農場4戸は中小規模の繁殖・肥育一貫経営の養豚農家であった。
- (2) エゴマ種実の配合については、各農場ともに製粉機等で粉碎後、攪拌機を用いて肥育用配合飼料へ3%の割合で混合していた。
- (3) エゴマ種実は飼料として輸入されているもので、単価はkgあたり266円であった。(平成15年4月現在)
- (4) 格付け状況については、出荷豚の上物率が37.9%であった。試験生産の期間であり、出荷適期の見極めが難しいことから、やや低い水準になったと考えられる。
- (5) 腎周囲脂肪の脂肪酸組成については、n-6/n-3比が2.4～3.3と場内で実施してきた試験成績と同様の数値であった。
- (6) アンケート調査の結果については、「いつも食べている豚肉よりおいしい」が83%、「いつも食べている豚肉より柔らかい」が61%とこれまで実施してきた試験成績を反映している結果となった。
また、「また食べたい」が94%と消費者の評価も高い結果となった。
以上のことから、エゴマ種実を用いた豚肉の高品質化技術は、養豚農家においても取り組むことが可能であり、その豚肉は商品としても高い評価を得られた。

4 その他の資料等

山田ら エゴマ(*Perilla frutescens*)種実給与による豚肉の高品質化、福島県畜産試験場報告No.10、45－51(2003)